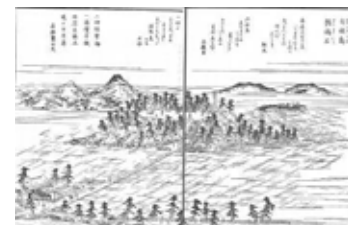


# おのころ島神社と芦原国

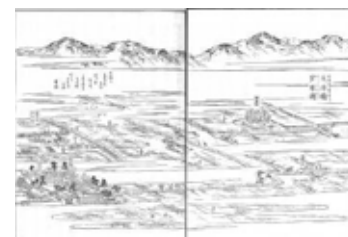
所在地：南あわじ市 榎列下幡多



おのころ島神社の大鳥居



淡路國名所図絵「おのころ島神社」



淡路國名所図絵「芦原国」



三原平野とおのころ島神社

おのころ島神社は、三原平野の真ん中にある、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）を祀る神社です。神社の鎮座する丘が、国産みの舞台となった自凝（オノコロ）島であると伝えられることから、縁結びや安産などの御利益があると言われていています。

境内には高さ 21.7m の朱塗りの大鳥居が建ち、地域のランドマークとなっています。また、つがいのセキレイが二神に「とつぎ」を教えたという伝承が残る「セキレイ石」もあり、国生み伝説を感じられる神社として、島内外から多くの参拝者が訪れます。

芦原国は、おのころ島神社の西約 800m にある、国生み伝説ゆかりの地で、国常立神（クニトコタチノカミ）が祀られています。芦原国とは、古事記・日本書紀に登場する言葉で、二神が創った国土全体を指すことから、三原平野一帯が芦原国であるとも考えられています。

## 【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から県道 125 号を東へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図